

Dr. washii  
ドクターワッシーの  
認知症  
よもやま話

【第1回】

テレビ製  
認知症?



ちゃんとして後で名前を思い出す。

認知症では多くの場合、聞いたことや自分のしたことをすぐに忘れてしまうという記憶力の低下のほうの問題だ。ひどくなれば、人との約束を忘れて迷惑をかけたたりする。そこまでいなくても、し忘れや置忘れが目立つようになる。と、ここまで書いてきたら、ワッシーもちょっと心配になってきた。昨日も、風呂場の電気を消し忘れ、奥さんに言われて鼻白んだ。

患者さんが血相変えてクリニッ

による記憶障害かアルツハイマー型認知症によるもの忘れなのか、病気のごく初期には、専門家でも診断は簡単ではない。

大騒ぎの患者さんも、もの忘れのテストは満点で、頭のMRIの検査も合格だ。といっても、ワッシーなんぞが「認知症ではない。心配要らない」と言っても患者さんはなかなか信用してくれない。それほど、テレビで煽られた不安の炎はしたたかに燃え続ける。

だから、「今のところは、認知症の疑いはない。でも、念のため、半年後にもう一度診察しましょう」と言わなければならない。あー。(石黒修三 医療法人社団いしぐるクリニック理事長)

# 忘れても後で思い出せば大丈夫

今回から6回にわたって認知症をテーマにコラムを書かせていただく。こんなふうに執筆するのは随分と久しぶりだ。10数年前、北

けし」や「ためしてがってん」の影響が大きい。本当の認知症の患者さんなら本人はケロツとしてい

の犠牲者といえるかもしれない。  
したことをすぐ忘れる?

國新聞朝刊の生活面で連載していたから、ワッシー(自分のことを「わし」と呼ぶことから付いたニックネーム)のことを覚えている人がいるかもしれない。

先日、ワッシーのクリニックに大騒ぎの患者さんがやってきた。

「センス。わたし認知症。この頃、人の名前が出てこない」

テレビで認知症をテーマにした番組でも見たのだろう。昔は、「みものもんだ」だった。この頃は「た

人の名前が思い出せないなんて、ワッシーなんか、しょっちゅうだ。いつも、「あれー、それー」で会話をすましている。記憶したものの想起がうまくいかないのだ。でも、「歳を取るにつれ、記憶したものの量が半端じゃないから、取り出すのに時間がかかるだけ」と、逆に威張っている。それが証拠に、

クへやってきたのは、口には出さないが、似たような失敗を経験しているのかもしれない。歳を取るにつれ、脳の神経細胞の数は減っていく。数が減れば、それなりに働きも落ちる。

## 脳が委縮したとしても

年相応に脳の委縮が進んだとしても、それはイコール認知症ではない。ただの歳相応のもの忘れ。良性のもの忘れだ。そういう加齢

## もの忘れ?

君だって、あすから  
ダイエットするーって  
何回も言ってるよ

昨日の  
お風呂  
今朝の  
ゴミ出し  
忘れてたよ

